



初等部だより 4月号

鎌倉女子大学初等部

令和5年4月6日

第1号

ご進級おめでとうございます

部長 勝木 茂

心地よい春風とともに季節が巡り、初等部全体から、変わらない子どもたちの元気な声が聞こえ、新年度がはじまりました。お子様のご進級、誠におめでとうございます。



【岩瀬キャンパスの桜 令和5年3月30日撮影】

本日、松本講堂にて1学期始業式を行いました。始業式では、「自分なりの目標をもって毎日を過ごそう」という話をしました。

自分に合った目標を立て、その実現に向けて一歩ずつ努力することはとても尊いことです。そしてそれらの過程で、新たな自分のよさに気づき、自信が持てるようになることは、将来に向けてとても大切なことだと思います。

わたしは、子どもたちにとって、自分の目標を立てるということは、それほど簡単なことではないと考えています。ずっと先の将来の夢のようなものとは少し区別することも必要だと思っています。(もちろん将来の夢をもつことも大切です。)つまり、今の自分の状況にある程度理解し、可能な努力をすることによって実現出来る、そんな目標を立てることが重要だと思うからです。

例えば、新しい漢字を習得するのが苦手な子どもが、「漢字のテストは毎回100点満点をとる」という目標を立てたとします。学級担任をやっていた時のわたしの経験からすると、その目標を実現することはかなり困難

なことだと思います。場合によっては、途中で投げ出したり、自信を失ったりすることもあるかも知れません。また、目標は簡単に実現出来るものでも良くないと思います。今現在、水泳で10メートル泳げる子どもが、「今年中に15メートル泳げるようになる」という目標は、それほど努力をしなくても実現出来る可能性が高いと思います。

目標は、今現在の自分の状況が分かり、可能な努力によって実現出来る辺りに立てることが良いと思います。もし、予定よりも早めに目標が実現出来れば、その時点で新たな目標を立てれば良いと思います。そう考えていくと、程よい目標を立てる経験が十分ではない子どもたちにとっては、親や教師の適切な助言が必要になってきます。子どもの自尊心を傷つけることなく、その子どものやれそうな努力の過程を見通しながら、いっしょに考えていき、そして子どもに自己決定させていくことが最良だと思います。そしてそれらの繰り返しの中で、自信を深め、将来に向けて自己実現出来るようになれば良いと思います。

さて、全国的に「新型コロナウイルス感染症」の新規感染者が減少している状況ですが、本学(幼稚部から大学まで)においては、5月の連休明けまでは2類相当として取り扱われますので、感染者や濃厚接触者の扱いについては、今までと同様といたします。

なお、5類相当に変更後、授業中のマスクの着用をどうするのか? 黙食を続けるのか? 音楽室での歌唱を行うのか? 調理実習を再開するのか? 等々に関しましては、改めてご連絡いたします。

今年度におきましても、初等部の全職員が「子どもの成長にかかわる仕事をしている」というプライドをもって、日々新鮮な気持ちで臨みたいと考えます。

これまで同様、保護者の皆様のご理解とご協力のほどどうぞよろしくお願いいたします。